

第31回尾張旭市健康まつり実行委員会 議事録

- 1 開催日時
令和元年7月4日(木)
開会 午後2時
閉会 午後3時5分
- 2 開催場所
尾張旭市保健福祉センター 4階 シアタールーム
- 3 出席委員
金森俊輔、山崎雅弘、加藤富士子(代理)、佐藤七美子、石井トシ子、
木島千代子、相羽かよ子、佐藤るみ、梶田英之
(欠席1名) 鎌塚敏史
- 4 傍聴者数
0名
- 5 事務局
健康課 課長 臼井武男、課長補佐 加藤ひとみ、課長補佐 磯村茂、
健康まつり担当 宮下直人、澤田仁美、中恵子
- 6 議題
 - (1) 第31回尾張旭市健康まつりの実施報告について
 - (2) 第31回尾張旭市健康まつりの収支決算報告について
 - (3) 第31回尾張旭市健康まつりの反省点について
 - (4) その他

7 会議の要旨

事務局	開会のあいさつ
会長	あいさつ
事務局	ただいまより、第31回尾張旭市健康まつり実行委員会を開催する。会議の議長は会長が行うこととなっているため、進行を実行委員会会長にお願いする。
議長	それでは、議題1「第31回尾張旭市健康まつりの実施報告について」および議題2「第31回尾張旭市健康まつりの収支決算報告について」事務局より説明いただきたい。

議題の説明に入る前に、今回の健康まつりは例年と比べ3点変更した。

1点目は、健康フェスタ全体の新たな取り組みとしてSDGsを取り入れた。SDGsの17のゴールのうち、健康まつりの各コーナーがどの目標に向かって取り組まれているものなのか、そのロゴマークと数字を提示した。

2点目は、こどもでも参加できるコーナーとして、足指力測定と俊敏性測定コーナーを設けた。

3点目は、去年の中学生ボランティアに続き、看護学生ボランティアの協力を得た。

それでは、議題(1)「第31回尾張旭市健康まつり実施報告について」

第31回のテーマは「平成最後の健康まつり。さあ、健康生活へシフトチェンジ!!」。来場者数は、公式発表1200人。

(～実施報告について、パワーポイントを使って説明～)

屋外

入り口近くに薬剤師会のサブブースを設けた。化学反応を使った実験を実施した。

1階

日赤奉仕団コーナーでは、パネル展示・啓発物品とスタンプラリー用紙を配布した。スタンプラリーは、実行委員会構成団体のコーナーに参加するとスタンプを押印した。8つのうち4つのブースを体験すると、記念品と交換できる方法で実施した。

2階

歯科医師会による歯科健診、歯科相談、歯磨き粉作り、歯ブラシ交換、歯磨き指導、細菌数測定を実施。

瀬戸保健所による、たばこやアルコール問題、心の健康について啓発を実施した。

公立陶生病院による、がん相談、COPDスクリーニングを実施。がん相談とあわせウィッグの業者も参加し、情報提供できた。

瀬戸旭医師会による、健康相談、認知症チェックを、ミニ講座では「痔についての話」を実施。

身長・体重・血圧測定では、あづま会に協力をしてもらった。

薬剤師会による、医薬品全般についての相談、薬に関するクイズや記憶力・ロコモ・バランスチェックを実施。

その他、測定機器を使用し、体組成測定、ロコモチェック、超音波骨密度測定を実施。

3階

健康づくり食生活改善協議会による展示、野菜入りおにぎりや具だくさん味噌汁の試食、紙芝居は親子連れから好評だった。

今回から新しく俊敏性測定コーナーを設けた。機械を使用し、ゲーム感覚で俊敏性を測定でき、小さな子どもがいる家族連れにも好評だった。

4階

旭労災病院コーナーは、フットケアとその映像を流した。

健康づくり推進員会による、お手玉積み、手ぬぐいばさみ、健康体操を実施。

あたまの元気まる測定、血液さらさらチェック、ネットで元気まる、脳年齢測定、足裏画像測定、今回から新規に導入した足指力測定を実施。

9名の中学生ボランティア、5名の看護学生ボランティアに参加してもらった。

議題（2）「第31回尾張旭市健康まつり収支決算報告について」（資料2）

協賛金について、歳入、協賛金30,000円とある。1口5,000円を2口ずつ尾張旭ロータリークラブ、尾張旭ライオンズクラブ、東邦冷熱工業株式会社計3者から協賛金をいただいた。この場を借りて報告する。

（収支決算報告について、資料2を用いて説明）

第31回尾張旭市健康まつり予算は、800,000円の負担金、30,000円の協賛金を合わせて830,000円。

歳出合計は830,000円であり、その内訳は委託料、食糧費、消耗品に充て、予定額の通り支出。あたまの元気まる測定オペレーターなど委託料343,980円。差引額3,980円。ボランティアスタッフの昼食弁当代など食糧費66,846円。差引額8,154円。立て看板制作費、のぼり旗購入代として啓発費73,872円。差引額マイナス33,872円。測定機器用消耗品、スタンプラリー記念品(大人：手ぬぐい)購入等材料・消耗品費282,752円。差引額42,248円。印刷用紙購入、コピー代として事務消耗品費62,550円。差引額マイナス12,550円であった。不足分は、それぞれの科目より流用し、歳出の総合計830,000円となり、残額は0円となった。

議長

収支については、監事瀬戸保健所 総務企画課 主任主査梶田英之氏により監査を実施。

監事	第31回尾張旭市健康まつり実行委員会の収支決算報告書の各事項について帳簿等を確認し監査したところ、その内容の適正なることを認める。令和元年7月4日。
議長	何かご意見はないか。
副会長	予算額は残額を出してはいけないのか。繰り越すことは良くないのか。
事務局	基本的に単年度執行の負担金であるため繰越は想定していない。必要な消耗品等を購入した結果であり、不必要な物は購入していません。
議長	議題1「第31回尾張旭市健康まつりの実施報告について」および議題2「第31回尾張旭市健康まつりの収支決算報告について」承認を得たい。
実行委員	(異議なし) 議題1・2承認。
議長	議題(3)「第31回尾張旭市健康まつりの反省点について」事務局より説明いただきたい。
事務局	議題(3)「第31回尾張旭市健康まつりの反省点について」(資料3)、当日の実施報告書をもとに作成。
瀬戸旭医師会	せとかいどう花井クリニックDrに、「痔について」の講演を2回行ってもらったが、午前中は特に好評だった。 市民の健康相談をゆっくりできて良かった。
歯科医師会	細菌数測定は1キットが100個であり、途中で打ち切った。来年度以降、今回よりキット数を増やすか検討中。
薬剤師会	屋外サブブースコーナーは連休と悪天候が重なり、来場者が少なかった。学生は自主的にスムーズな運営ができていた。 屋内のメインコーナーは、午前も午後も相談者が多かった。クイズを待っている人に、ロコモチェック等を行ったが好評だった。
公立陶生病院	ミニ講演会「がんについて」「COPDとたばこ」は好評であった。今回はウィッグの業者にも参加してもらい、市民へ情報提供できた。
瀬戸保健所	アンケートの回答と引き換えにスタンプを押印し、流れがスムーズだった。 たばこクイズは368人が参加。昨年より増加した。

健康づくり食生活改善協議会	<p>11:00～30分間は特に賑わった。</p> <p>試食の具だくさんおにぎりを630食作るのに時間がかかったため、紙芝居があまりできなかった。ボランティアが靴袋の対応をしてくれ、助かった。</p> <p>子どもたちは隣の俊敏性コーナーに目がいき、紙芝居から気がそれることもあった。</p>
健康づくり推進委員会	<p>手ぬぐいばさみゲームを急遽行った。</p> <p>折り紙コーナーを設けたが、一部の高齢者には「難しい」「簡単すぎる」という両極端な意見が出た。</p>
地域婦人団体連絡協議会	<p>フェスタ実行委員会より、SDGsのスタンプラリーについての案内が無く、お客さんに聞かれて困った。事前に周知してほしいかった。</p>
あづま会	<p>例年、血压測定をした方に質問されることが多く困っていたが、看護学生ボランティアが質問に答えてくれ助かった。</p>
事務局	<p>旭労災病院の委員は本日欠席のため、いただいた意見を事務局より伝える。昨年とは変更し、お湯を使用せずフットケアを実施。整理券を配布し、スムーズに実施できた。</p> <p>フットケアの方法等のDVDを流したが、ざわつきでかき消され、画像だけが流れている状態であった。との意見を旭労災病院より頂戴した。</p> <p>その他</p> <p>測定コーナーは、参加者が集中しなかった。整理券も苦情無く配布できた。骨密度、足裏画像、足指力測定は流れがスムーズではなかったので来年度の課題である。</p> <p>ベビーカー、自転車置き場が確保でき、安全性に留意できた。各階にどんなコーナーがあるか詳細パネルを掲示するべきだった。</p>
議長	<p>他に意見はないか。</p> <p>館内飲食禁止が徹底できていなかったとはどういうことか。</p>
事務局	<p>福祉市場でクッキーを販売しているが、廊下で食べてしまう方がいた。チラシでは周知しているものの不十分であった。</p>
議長	<p>議題（4）その他</p> <p>他に意見はないか。</p>
副会長	<p>この機会にいくつか確認させていただきたい。まず、そもそもこの健康まつりは、4月29日に実施しなくてはならないのか。昔は、秋の市民祭と同時開催だったと記憶している。4月29日が「健康の日」と市民に浸透しているのか。</p>

	<p>また、毎年のことだが午後になるとお客さんが減ってしまう。実施時間については午後 3 時までやらないとダメなのか。</p>
事務局	<p>まず、本市は市民の意見を基に、平成 16 年に「健康の日」を定め、従来は 10 月の市民祭と同時開催していた「健康まつり」を、平成 17 年からは「あさひ健康フェスタ」として内容を拡大して 4 月 29 日に実施してきた。今年で 15 回目となり、市民の皆さんにも定着してきたと考えている。なお、以前、金森会長からも同様のご意見をいただいたので、改めて市の幹部会で検討した結果、4 月 29 日の開催と決まった。今回の 10 連休の様な特殊な日程は今後はないと思われるが、皆さんのご理解をいただきたい。因みに、全戸配布するチラシの一番上にも「健康の日」である旨は記載している。</p> <p>次に、午後に来場者が減るので実施時間を短縮してはどうかというご意見についてだが、まず、まつりの時間は実施要綱に基づいていること、そして費用対効果の面から安易に時間短縮はできないと考えている。また何より、時間を短縮する前に、午後の来場者を増やせるような様々な工夫を優先して行わなければならないと考えている。昨年度から薬剤師会のサブブースでは子どもさんも楽しめる実験コーナーを実施しているし、本年度は俊敏性測定という測定機器も導入するなどしている。今後も努力していきたいと考えているのでご理解を賜りたい。</p>
副会長	<p>健康の日について周知が不足しているのではないか。</p>
事務局	<p>健康都市という言葉は浸透しているが、健康の日については PR が足りていないのも事実。周知徹底していきたい。</p>
薬剤師会	<p>今年はスタッフを集めるのに苦労した。10 連休の 3 日目ということで、多くの方が無理をして協力してくれたことは、市の方に知っておいていただきたい。マイスター手帳の周知も積極的に行ってほしい。</p>
健康づくり推進委員会	<p>同じく推進員もスタッフを集めるのは苦労した。ただ健康都市として市民祭等に参加することは重要と思っている。</p>
事務局	<p>来年度は、市制 50 周年記念となり、1 年をかけて市全体で記念事業を開催していく。この健康まつりも冠事業の一つとして実施する予定で、予算の拡充を要望しており、高機能な測定機器の導入を検討している。</p> <p>次回の実行委員会は、来年 1 月上旬に開催予定。その前の 12 月に、皆さんにアンケートを取らせていただくので、次回の実施内容や準備物品などについて検討いただきたい。</p>
議長	<p>第 31 回尾張旭市健康まつり実行委員会を閉会する。</p>

